

昭和二十二年六月十三日（第三種郵便物認可）
令和三年一月十三日發行（毎月二十四十三日發行）
定価 五〇〇円

第952号

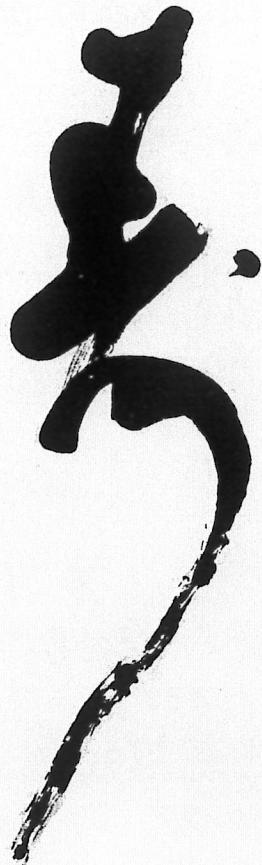
高 知 道 會
龍 跳 書

新年試筆作品号

第七十七卷

2
月号

竹
村
子
雀
書



雀

迎春



春年也宣敷く

お頃、申上げ事

新羅王道之二回

新

年

试

筆

出間桂堂

其福日新

大黑仙雲

其福日新

其福日新

一意專心

森本瓊象

星一

以貫之

追慕之

吾一以貫之

星一以貫之

廣末幽念

天

地

念本

回

春

律

天地春律を回す

風急天高猿嘯哀渚清沙白鳥飛廻無邊落木蕭々下
不盡長江滾々來萬里悲秋常作客百年多病(以下略)

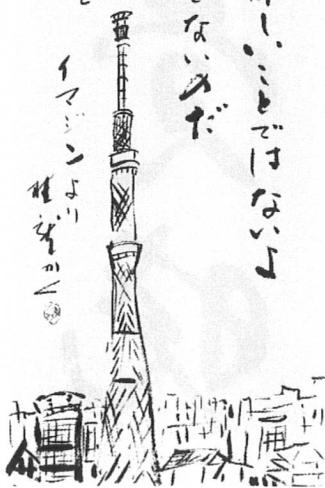
梅川桂龍

想像一つづらん 国家などなどだとそう難いことではない
國のために殺されたり死んだりする価値などないんだ

イーテ宗教などなどだと想像しごらん

全ての人々が平和に生きているところを

「イマジン・ザ・ワールド」



塚地桂峰

春眠

不覺曉

晴

春眠不覺曉

大原桂園

江山千古心

桂園

江山千古心

佐々木 港 花

專心

一意專心

野 島 桂 山

自天降

福

十

萬年

桂山書

自天降福千萬年（天より福を降す千萬年）

中城 康華

知者不惑

知者不惑

江西澄翠

禍福無門

禍福無門

禍福無門

大崎紫陽

福壽

紫陽書

福壽

前田秀華

致寬

秀華

致寬

横山桂華

束花東

桂華

花束

岡崎 緑水

落花

隨流

落花隨流水

武内美仁

知遠不知近

知遠不知近

高橋朱鳥

李太師

收音
李太師

岡田雄山

李太師收晉

丹心照萬古

丹心照萬古

大八木 洋女

松花伴鶴飛

洋すよ

松花伴鶴飛

岡本空仁

温故知新

温故知新

岡林邦心

刊石銘徳与日永揚
永平四年歲在
邦心

岡本志峰

獻
志芳符万歲

志芳符万歲

よろこびを献じ万歳を符す

刊石銘徳与日永揚永平四年歲在

小野山 美 喜

桃
千
歲
春

美 喜

桃の花が美しく咲いて千歳の春をなす

小川理香

一點出塵綠春情仍自深香微憐土
江季之

一點出塵綠春情仍自深香微憐土

大石千施

黄禽雙啼白日靜
綠草自動春風香

大石千施

岩谷紅花

徳は孤ならず必ず隣有り

紅花大石

徳は孤ならず必ず隣有り

伊吹悠道

花間一壺酒

悠道云

花間一壺酒

井口花道

鶯語竹修竹

花道云

井口

うぐいすはよき声して高く長き竹に吟じてゐる

石川美水

慶雲寫光

美水

慶雲昌光

池芳春

春宵一刻直千金

羊年大吉

春宵一刻直千金

岩 河 里 華

郭

天

地

文

超

里 华 大 圖

鶴 天 地 交 遊

市 原 處 艸

切 碰 琢 磨

切 碰 琢 磨

氏原美泉

山麗春風花香

美泉

山麗春風花香

笠原多嘉

過則勿憚改

多嘉

過則勿憚改

河村容舟

春水初生乳燕飛

容舟書

春水初生乳燕飛

片岡政徳

啼鳥聲

啼鳥聲

北村哲郎

月夜

江月照松風吹

哲郎

佐竹江月

江月照松風吹

江月照松風吹

江月照松風吹

画龍点睛

隅田亘心

野鶴孤雲自在春
風醉客相宜

立心云

野鶴孤雲自在春

田村和子

大觀樂

印

大觀樂

戸 田 吉 孝

芳 香 修 止

うぐいすはよき声して高く長き竹に吟じて いる

中 城 知 抄

敬 頌 売 旦

新 春 節 文 手 写 也

敬 頌 売 旦

中 平 美 峰

春 近 有 梅 知

美 幸 仙

春近きは梅の知るあり

中 平 幸 仙

夕陽歸鳥投深麓
煙火行人望遠村

夕陽歸鳥投深麓
煙火行人望遠村

中內桂香

梅色遶屋
香成海

林子山

梅花遶屋香成海

西山極山

檐前柳色分張綠
窓外花枝借助香

林子山

檐前柳色分張綠
窓外花枝借助香

西森令泉

歌

舞

令
泉

上

鶴舞雲上

西森啓助

春は鳥の声に随つて開けて來た

啓助書

春は鳥の声に随つて開けて來た

野中惠花

風景一時新

惠花

風景一時新

溫故知新

洋堂

浜崎洋堂

溫故知新

萩野羽花

子孫遷于雍州之郊勿止
右扶風或在安定或處

子孫遷于雍州之郊分止
右扶風或在安定或處

原桂春

萩野羽花

甘雪慶雲

桂春原

甘雪慶雲

弘田賀峰

雲開萬壑春

丁巳年

廣田秋櫻

慶雲興

秋櫻

慶雲興

雲開萬壑春

藤原朱鳳

笑門來福

朱鳳書

笑門來福

深瀨綠堂

桃花笑春風

朱鳳書

桃花笑春風

別役美佐

和氣致祥

美佐出

和氣致祥

水田紅子

聞道春還未相識走傍寒梅訪消息
停步尋梅訪消息

聞道春還未相識走傍寒梅訪消息

森本寿山

夢回春草池塘外
詩在梅花烟雨間

森光望春

春山草木新

望春

春山草木新

山本惠歩

李太師收晉賢十四帖
武帝王戎書

山口美智子

鶴飛春風千里

美智子書

鶴が春風にのつて千里を飛ぶ

李太師收晉賢十四帖
武帝王戎書

山崎 彰二郎

和氣致祥

彰二郎書

和氣致祥

矢野峰臣

桃の千年
春

年
1

か

印

桃の花は千年かわらず春を告げて咲いている

和田風和

松竹

水聲涼

風和

月

松竹水聲涼

天野喜泉

溪流春有聲

喜泉書

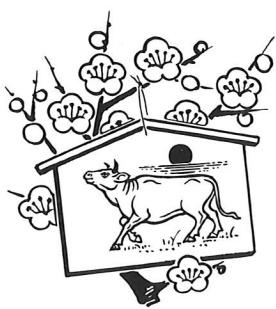
溪流春有聲

吉田深美

千里之行始於足下

深美七

千里之行始於足下



米芾

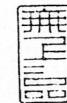
李太師帖

李太師收晉賢十四帖

帖武帝王戎書若篆籀
謝安格在子敬上真宜批帖尾

子敬上真宜批帖尾

也



李太師收晉賢十四帖。武帝王戎書若篆籀。謝安格在子敬上。真宜批帖尾也。

りたいし しんけんじゅうよんじょう おさ ぶてい おうじゅう てんちゅう ごと しゃあん しきい あ まこと よろ じょうび ひ
李太師 晉賢十四帖を收む。武帝・王戎の書は篆籀の若し。謝安の格は子敬の上に在り、真に宜しく帖尾に批すべきなり。

米芾 李太師帖

米芾（一〇五一—一〇七）は宋代を代表する三大家（黃庭堅蘇軾）の一人です。

米芾は書学博士として朝廷に仕え、宮中の書画の名品に常にふれていきました。

顏真卿の考え方を受けつぎ、古典を勉強し、独特の風格を出すに至ります。一筆で何字でも続けて書き、全体の一貫性があると言われています。

春季昇段級試験作品募集

▽師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)

○課題

對酒不覺暝 落花盈我衣
醉起歩溪月 鳥還人亦稀

(惜花 唐 張籍)

酒に対し瞑を覚えず 落花 我が衣に盈つ
醉起して溪月に歩すれば 鳥還つても人も亦稀なり

○右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と三十五ページ米芾

○太師帖より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
○作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。

○当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部

(受験資格 一般部段位、級位の者)

○課題

満地碧烟新草色。一痕春意早梅花。
満地の碧烟新草の色 一痕の春意早梅花。

▽硬筆作品

○課題の文字は龍跳一月号

(一月二十日締切) の課題字句とします。

○それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名

を正確に書いて出品してください。

○段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

○出品料 五百円

△作品の締切

令和三年三月四日(木) 必着のこと。

△審査日時

令和三年三月七日(日) 午前九時三十分より

△審査場所

高知城ホール

△受験作品送付先

〒783-1001 南国市片山四九〇 西山極山

萬物生光輝

萬物光輝を生ず

(注) 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

○上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

○作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。

○作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。

○当選者は初段以下相当段級位に認定編入すること。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

△学生・学童の部

(毛筆部)

○課題字句「龍跳」一月号掲載(一月二十日締切)の課題字句とします。
○規格は半紙。「一人一点とします。
○書体は自由です。
○作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で)
○作品の表には絶対に書いてはいけません。

○出品料

五百円

梅川桂龍書

感時花
溅淚

時に感じては花にも涙を濺ぎ

梅
川
桂
龍
書

驚
鶯
心
別
恨
鳥

別れを恨んでは鳥にも心を驚かす

福 原 曉 雲 臨

四 海 生 春 風

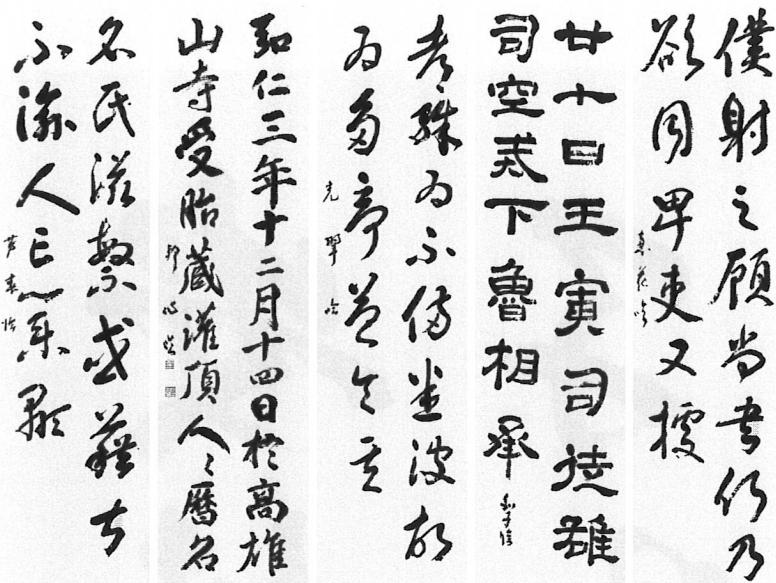


出間桂堂臨

米芾 李太師帖

安格在子敬





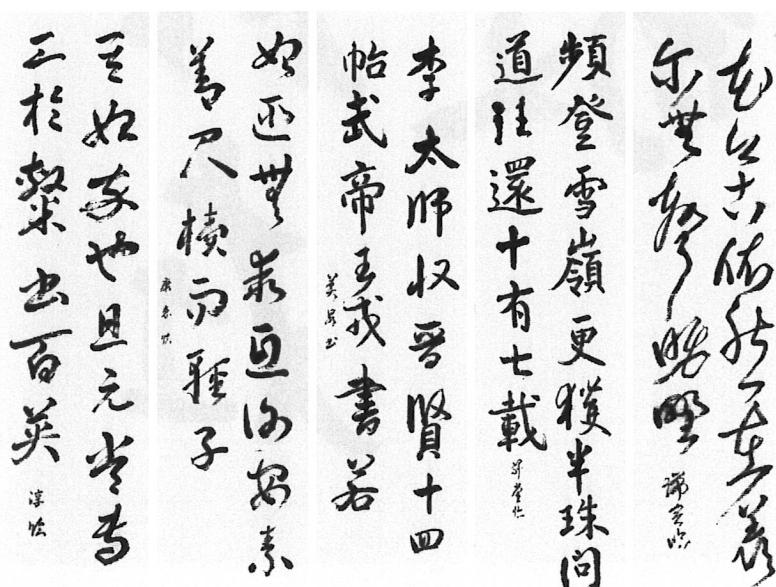
池 芳春

岡林邦心

吉永光翠

田村和子

野中恵花



大井 淳

森岡康惠

氏原美泉

深瀬綠堂

川渕瑞容

条幅当選作品 梅 川 桂 龍 選評

★天位

野中恵花君||安定した線と書きぶりに好感がもてる。

田村和子君||じつくり書いて大らかな作で佳。

吉永光翠君||街いがなく作品が明るい。

岡林邦心君||字数の多い作品を、墨量を利かせ上手くまとめている。

池 芳春君||達者な書きぶり潤渴も効果的。

★地位

川渕瑞容君||筆全体を駆使して大きく動いている。

深瀬綠堂君||淡々と丁寧に臨して落ちつきあり。

氏原美泉君||忠実に臨書づる姿勢が見える。

★人位

森岡康恵君||この書譜を書き込んで書き込んで更に良い

作を期待します。

大井 淳君||右に同じ、更に流れを勉強してみて。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

1月の審査は24日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は**共済会館**です。
※審査会終了後、女流展作品の下見会を行います。
(参加料500円)

日常話題

の

会員登録
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ

2月20日締切

中學一年課題　廣末幽念書

當給食番來

時 少 年
代

小学五年課題
隅田亘心
書

公正

大明

待
春
つ
と

小学三年課題 大原桂園書

小川
石の

まだ
よる

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

そ
う

学校名	太一は、
年	いかりを下ろし、
級段	海に飛びこんだ。はだに水の
氏名	感触がここちよい。海中に差
	しこんだ光が、波の動きにつ
	れ、かがやきながら交差する。
	耳には何も聞こえない。

学 校 名	町へ入るとすぐの四つ角に、
五 年	げた屋さんがあつて、大きな
級 段	板が出ています。その前を通
氏 名	るとき、おみつさんはふと足 を止めました。

ウナギは、日本各地の
川や池にすんでいます。
それなのに、なぜ、はる
か南の海にまで調査に来
るのか、不思議に思う人
もいるでしょう。

学校名

四年

級段

氏名

学校名	
四年	
級段	
氏名	

学校名	俳句は、五・七・五の
三年	十七の音でできて、います。
級段	「菜の花」は春の花です。
氏名	このような、俳句の中で きせつを表す言葉を「季語」といいます。

がっこう
二
きゅう
なん
なまえ

うつて、池の水がきらきら光
りました。と水の中を
うつりました。



ようち・ほいく課題 中平美峰書

がっこう				
ほん				
だきゅうん なまえ				

たさ
かんく
ぼらげ
ぼらそ
うれす
いせん

出品者のみなさんへ

- 出品票の記入は楷書で地名、氏名（姓号）を正確に書いて下さい。
- 段位の方は朱書き、級位の方は黒書きして下さい。
- 段位は漢数字、級位はアラビア数字で書いて下さい。
- 新規出品者は級位の欄へ「新」と書いて下さい。
- 出品は各競書一点です。
- 低学年の生徒名もできるだけ5字以内にまとめて書いて下さい。
- 落款も評価の対象になります。
- 出品票には年度と月が入っています。必ず規定のものを使って下さい。
- 出品票ははずれないよう、きちんとのりつけして下さい。

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師範

三千円
二千円

★準師範以下一般
学生

一千円

（注意）申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。

- ① 昇段の年月日
- ② 学生は学校名と学年
- ③ 一般は市町村名

（申込先）ご希望の先生に要項を明記した文書で直接お申し込み下さい。

〒七八一—七四一二

安芸郡東洋町河内二〇四

龍跳書道会

福原暁雲

〒七八一—一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一一六

龍跳書道会

梅川桂龍



(一・二段目)

出問桂堂 選評

皓月君||伸びやかで品格あり。
桂峰君||スケール大、平常心で良い。
桂山君||筆圧効き、近時線に見るべきものあり。

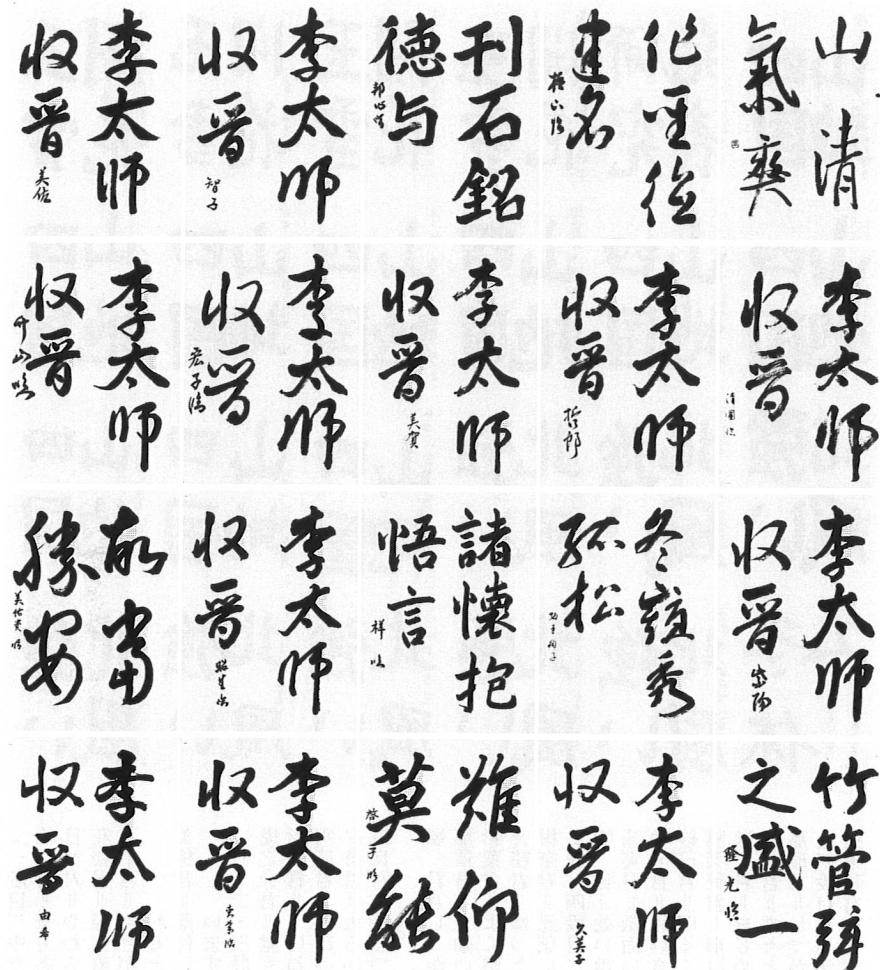
花梢君||筆力あり。深い線で迫力あり。
勢葉君||眞面目でおだやかな作。

智子君||筆圧があればぐんと良くなります。
桂峰君||眞面目でおだやかな作。

桂山君||筆圧効き、近時線に見るべきものあり。

桂峰君||伸びやかで品格あり。

桂山君||筆圧効き、近時線に見るべきものあり。



(一・二段目) 玲華君^{II}淡墨に合わし半紙で書し、福原曉雲選評。極山君^{II}筆致流麗でリズムに載る。

爽快。出品券に臨書名記入して下さい。

邦心君^{II}鄭義下碑、稍重い所あるも堂々の楷書。原本を更に追及して下さい。

智子君^{II}ベテランの味が出て来る。落款は左行が空いていするので今後注。雅印を押す予定の作品作り。

美佐君^{II}情趣ありて、線が良い。古典を良眼習いして下さい。古清園君^{II}線強く墨色良し。眼識力を付け意渴は良い。運筆の事。桂峰選評。

哲郎君^{II}線強く墨色良し。宏子君^{II}気力充実の作。

美賀君^{II}氣力充実の作。

竹山君^{II}力みなく伸びやかな作。

紫陽君^{II}動き大きく力強い。

(三・四段目) 大八木洋女選評。絢子君^{II}樂に書されている。

祥君^{II}真面目に書され明るい。

昭生君^{II}右に同じ。明るく書されている。

美佑貴君^{II}良く書されているが強い。

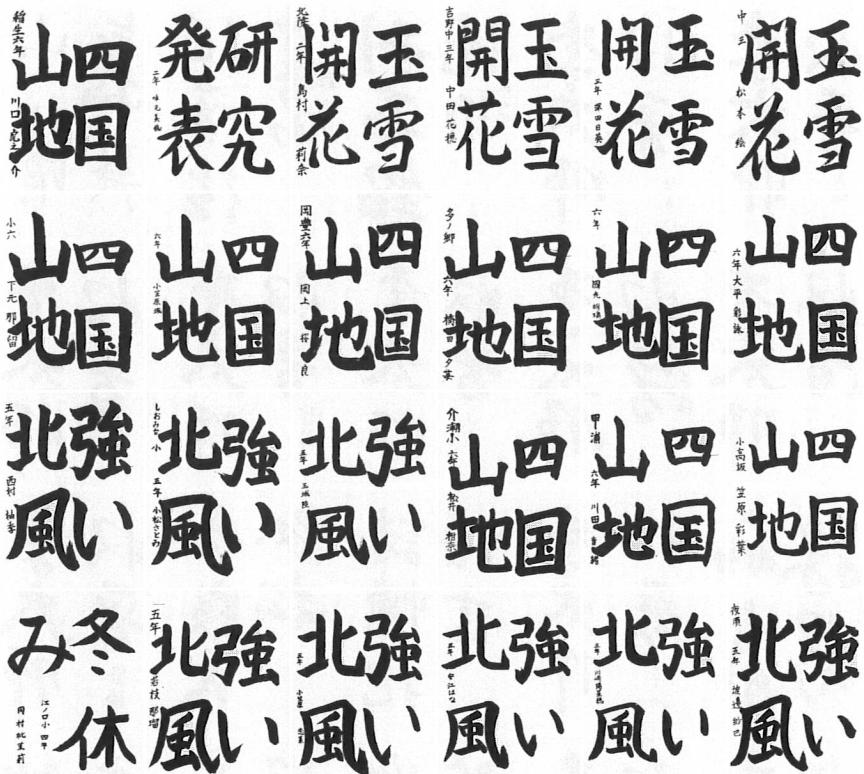
隆光君^{II}丁寧に書かれている分、少しつけられていません。

久美子君^{II}流れ良い。

(四段目) 佐々木港花選評。啓子君^{II}温和で、自然に書かれていました。

愛菜君^{II}小粒ですが気持ちよく書かれています。

由希君^{II}線が強いています。



(一段目) 中学部 岡本志峰 選評

絵君 || 筆力あり、線に味があります。
日葵君 || やわらかな線で動きもよい。やや多墨か。

花穂君 || 線が直線すぎる。これに味をつけたいね。
莉奈君 || 動きが大きく線質もよい。が落付いた線が加

わるともつとよくなります。美穂君 || 落付いた筆運びで一画くいていねいに書けています。

虎之介君 || 堂々とした作品です。
彩詠君 || ていねいに書け、明るくて良い。

花穂君 || 線が直線すぎる。これに味をつけたいね。
莉奈君 || 動きが大きく線質もよい。が落付いた線が加わるともつとよくなります。美穂君 || 落付いた筆運びで一画くいていねいに書けています。

(二・三段目) 小学六年 大原桂園 選評

明璃君 || ていねいに書け、明るくて良い。

夕苺君 || 大らかな作品です。

桜良君 || 落ちついて書けています。「山」の始筆がおしい。

颯君 || しつかりしてよくまとまっています。

那留君 || 力強い作品です。

彩葉君 || よく整っています。

音緒君 || ゆつたりした作品です。

柑奈君 || 元気に書けました。

(三・四段目) 小学五年 深瀬綠堂 選評

陸君 || 強い線でしつかりした良い字です。

諭実君 || 紙面いっぱい元気な作品です。

柚季君 || 思いきり体で書けてさわやかです。

紗己君 || 明るくよくまとめています。

陽菜穂君 || 形はよいが、線を強く書けばもつと良い。

はな君 || まじめによくまとめています。

恋菜君 || 堂々として立派です。

那瑞君 || しつかりと書いています。この調子で。

(四段目) 小学四年 枇茉莉君 || うまくまとめています。

河村容舟 選評



(一・二段目) 小学四年

英美利君||元気によくまとまっています。

有佳子君||形よくまとまっています。

朋乃佳君||力強く書けています。

璃子君||はじめな良い字。

大翔君||おおらかに書けています。

さと君||堂々と書けています。

咲翔君||このちようしで書いて下さい。

(二・三段目) 小学三年

千春君||大きく書いて文字も大変きれいで。

ひなこ君||一筆一筆大変ていねいに書いています。

真里君||のびのびとよくかけています。名前もていね

いによくかけています。

乙羽君||おおらかによくかけました。

維那君||しつかりした筆使いです。

(三・四段目) 小学二年

陽菜君||おちついで大へんきれいに書けました。

輝翔君||力強くかたちもよくかけています。

風佳君||ていねいにきれいに書けています。

仁貴君||のびのびとかけています。

一乃君||おおらかによくかけています。

みゆ君||どうどうとかけています。

(四段目) 小学一年

・ようち・ほいく 別役美佐選評

てんが君||どうどうとしたじです。

あらた君||ていねいにかけています。

ゆうせい君||バランスよくかけています。

いかが君||しつかりれんしゅうができるています。

みさき君||りっぱにかけています。

硬筆優秀作品

多ノ郷 弘瀬英乃玲
浦ノ内 矢野結理奈

長岡 永尾
玉城 真尋
陸尋

夜須 西村
越知 若枝
那瑠 柚季

須崎 久礼
谷谷 愛莉
松本さあや

久重 小笠原 鳩
上田梨里香

久礼 多ノ郷
中平 黄之瀬 暖乃

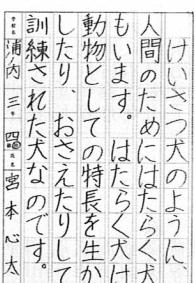
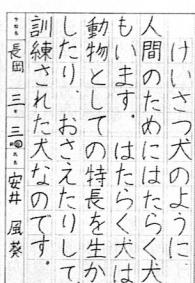
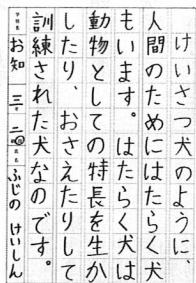
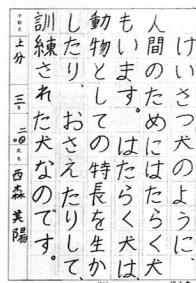
須南 多ノ郷
前田 橋田
真音 茉奈

長岡 久礼
二宮有佳子
中平 千友

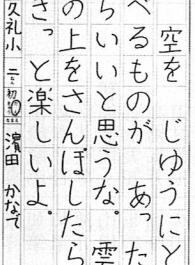
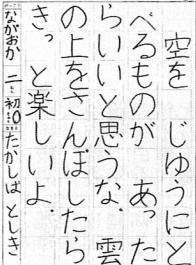
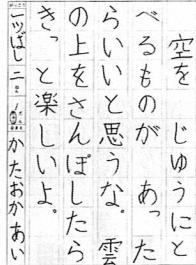
こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へと向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されているでしょう。	こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へと向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されているでしょう。	こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へと向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されているでしょう。
蒲内六・七・八・上 田 梨 里 香	久重六・七・八・上 田 梨 里 香	蒲内六・七・八・上 田 梨 里 香
立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へと向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されているでしょう。	立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へと向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されているでしょう。	立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。秋が深まり、冬へと向かっていくこのころの季節の様子は、どんな言葉で表されているでしょう。
地震の多いこの国に生きるわたしたちは、百年後のふるさとを守るために浜口儀兵衛が行ったことから、多くのことを学ぶことができる。また学ばなければならぬだろう。	地震の多いこの国に生きるわたしたちは、百年後のふるさとを守るために浜口儀兵衛が行ったことから、多くのことを学ぶことができる。また学ばなければならぬだろう。	地震の多いこの国に生きるわたしたちは、百年後のふるさとを守るために浜口儀兵衛が行ったことから、多くのことを学ぶことができる。また学ばなければならぬだろう。
須南四・七・八・前 田 真 音	須南四・八・橋 田 茉 奈	須南四・八・橋 田 茉 奈
やがて空色の車は、ほりばたの大好きな病院の前に止まりました。メーターは、いつの間にか、三千八百五十円に上がっています。	やがて空色の車は、ほりばたの大好きな病院の前に止まりました。メーターは、いつの間にか、三千八百五十円に上がっています。	やがて空色の車は、ほりばたの大好きな病院の前に止まりました。メーターは、いつの間にか、三千八百五十円に上がっています。
須崎四・五・六・七・八・九・十 久礼 中 平 千 友	須崎四・五・六・七・八・九・十 久礼 中 平 千 友	須崎四・五・六・七・八・九・十 久礼 中 平 千 友
やがて空色の車は、ほりばたの大好きな病院の前に止まりました。メーターは、いつの間にか、三千八百五十円に上がっています。	やがて空色の車は、ほりばたの大好きな病院の前に止まりました。メーターは、いつの間にか、三千八百五十円に上がっています。	やがて空色の車は、ほりばたの大好きな病院の前に止まりました。メーターは、いつの間にか、三千八百五十円に上がっています。

硬筆優秀作品

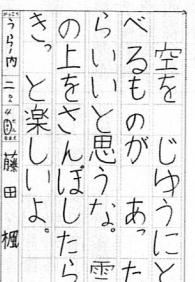
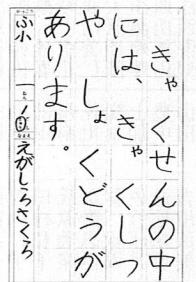
越知
上分
西森
美陽



一ツばし
ながおか
かたおか
あい



すさき
ふぞく
こ玉
なの



やす
やながおか
森田
みさき
にしむらあさひ



浦ノ内 宮本 心太
長岡 風葵

久礼 内藤田 結愛

多ノごう 大しろりサ

うらノ内 ふじ田あやは
みしまきい花

一コママンガの主人公 “りゅうちやん”

……八年間のご活躍、ごくろうさまでした。

一先ず、お休みされてから、いつかまた、成長した “りゅうちやん” が登場されるのでは……と勝手に思い、楽しみにもしています。

作者の武内美仁さんには、ご多忙の中、八年間休まずに毎月連載して下さいました事に感謝申し上げます。ありがとうございます。

連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先
「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一一一

隅田回心

龍跳書道会

振替口座番号
01690-3-31925

電話 (0八八九) 二五一〇九七一 番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (0八八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六一二九

廣末幽念

電話 (0八八七) 三八一五一〇八番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛治町六一八

江西澄翠

電話 (0八八九) 四二一三一〇六七番

・送本についての連絡先
(冊数の相違等については当方へ連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (0八八九) 四七一〇七一一 番

あとがき

今年も第42回書画展を須崎市文化会館で十一月二十日(金)より二十二日(日)まで三日間開催致しました。出品者は創始者町田先生をはじめ故人四名、審査員として森本、梅川、両先生そして出間先生にも出品にご協力頂きまして、計四十点の作品となりました。

心配しましたコロナ禍の中で沢山の方が鑑賞に来て下さいましてひと安心でした。そして多くの方から「芳志頂きありがとうございます」と座居ました。日に日に寒さも増しコロナウイルスだけではなくインフルエンザも流行期に入っています。一日も早くインフルエンザの予防接種をしましよう。くれぐれもお互い身体には気をつけましょう。

月例競書課題

月例作品送り先	保育	"一年	"二年	"三年	"四年	"五年	小学六年	"一年	"二年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般条幅	部別	締切日
〒783-0081 南国市片山四九〇 西山極山 宛	そら	だるま	川の小石	春を待つ	公明正大	少年時代	給食当番	日常の話題	任意	恨別鳥驚心	任意	任意	任意	二月二十日締切	
	はる	さくら	若みどり	山水の美	工場見学	学力試験	記念写真	大志を抱け	任意	烽火連三月	任意	任意	任意	三月二十日締切	

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は元料不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

〈例〉 12冊 Ⓐ+Ⓐ = 290円×月数
 17冊 Ⓐ+Ⓑ = 360円×〃
 30冊 Ⓑ×3 = 630円×〃

◎会費と龍跳誌元料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ①・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ②・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 元料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	发行人	編集室
須崎市東古市町二一六 電話(0889)4110244	(有)笛岡印刷所 電話(0889)381-5208	安芸郡田野町一四五六一九 電話(0889)381-5208	中江野島桂山 平江西澄翠 美峰未幽念(本部)
	龍跳書道会		